

平成27年度（2015年度）学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曽青峰高等学校 全日制

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

【総合評価】

成果と課題及び改善策・向上策		学校関係者	
重点目標	評価	評価	コメント
① 学習指導、生活指導、進路指導などあらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進する。 【成果と課題】十分とは言えないが、それぞれの分野で、きめ細かな指導を行っている。 【改善策・向上策】様々な場面で一人ひとりの生徒と向き合う時間をできるだけ多くとりたい。	A	A	・具体的進路の目標がきまっていれば、学習意欲も高まり、自ずと生活も規則正しくなると思われます。を早い時期に決めさせることが重要と思います。 ・引き続ききめ細かな指導の工夫をお願いしたい。 ・毎年確実な成果が出ており、先生方の努力の結果と思います。
② 多様な学習によって生徒の能力や個性を伸ばし、生徒それぞれの進路希望の実現をはかる。 【成果と課題】希望進路が実現できるように、個別指導も行っている。 【改善策・向上策】生徒の進路意識を喚起するためにも面談の機会を多くとりたい。	A	A	・学期の開始時に繰り返し、学習ノート(ポートフォリオ)の作り方を具体的に示して必ず作成させることです。一週間毎に提出させるぐらいの指導が重要です。 ・4つの学科を持つ特色ある高校の良い面があると思います。 ・希望進路への個別の徹底指導等が効果を上げている。 ・普通科だけでなく専門科の生徒にも多様な進路を見出していだいています。
③ さまざまな活動をとおり、生徒、保護者、中学生、地域の期待に応え、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。 【成果と課題】さまざまな活動で地域との連携をとるよう努力している。 【改善策・向上策】地域関連行事に積極的に参加したり、学校の情報を発信するなど働きかけをしていきたい。	B	B	・若い人は、地域の行事に関心が薄いのが現実ですので、ウェブページの活用等をご検討下さい。 ・学校公開、文化祭、授業参観、研究授業などよくやっている。
④ クラブ、生徒会、ボランティアなどの諸活動を積極的に支援し、地域や社会に貢献できる生徒を育てる。 【成果と課題】様々な活動に取り組んだ生徒が多くいた。 【改善策・向上策】できる限り多くの生徒が積極的に活動に参加するようにしたい。	B	B	・実際取組んだ活動の紹介と支援策を具体的に記載していただくと助かります。 ・今年も高校と地域の連携の記事を目にした。もっとメディアを利用して高校生の活動を紹介しても良いのではないかと。
⑤ いじめ・体罰等のない安心かつ安全な学校づくりをすすめる 【成果と課題】いじめ対策基本法の周知や生徒対象のSSTなどを実施し、安心かつ安全な学校づくりにむけた取り組みを行った。また、生徒アンケートを通して、いじめの実態を把握することができた。 【改善策・向上策】いじめのない学校作りを更に進められるように、生徒の人権意識涵養の取り組みが必要である。	B	B	・電子メール等SNSを用いたいじめはアンケート等ではなかなか把握しにくい。定期的に個別面談を実施し把握につとめてほしい。 ・いじめに対する取組は今後もきめ細やかな対応を望みます。
⑥ 教職員・生徒一丸となって各学科の特性を活かす学びの環境づくりに努める。 【成果と課題】各学科の特性を活かすことができるよう、日常の授業、外部に向けた発表会などに取り組んでいる。 【改善策・向上策】それぞれの学科の目標を達成するために、さらに努力したい。	A	A	・発表会の保護者等の参観は、生徒の励みになります。貴校ウェブページの掲載にも企画作成段階から積極的に生徒が参加できる方法を検討して下さい。 ・更に充実の個性的発表ができるようにしてほしい。 ・多様ながっかを持つ学校の特性を活かした学校づくりを望みます。

学習指導		評価	評価	コメント
普通科・理数科	授業内容の充実 【成果と課題】生徒の授業への評価はおおむね良好であるが、生徒によって、授業への思い、取り組みに差が出てきている。 【改善策・向上策】理解を深める工夫と、さらに力のつく方法の両面から全体的なレベルアップにつながる授業をめざす。	A	A	・自習室のための教室の開放等、自分たちで学習する場所と時間を提供することも検討していただきたい。 ・能力差が大きいのでご苦労が多いと思いますが、個を大切に！
	家庭学習の習慣化 【成果と課題】家庭学習に重点をおいた指導を行っているが、家庭学習の習慣化が思うようにいっていない状況である。 【改善策・向上策】クラブ活動や生徒会活動などの活動との両立が問題となっている。対応できるようにしたい。スマートフォンの使用規定作りを考える必要がある。	C	C	・昨年度も指摘させていただいた通り、宿題を増やすしかないと考えます。入学時から家庭学習の習慣をつけさせることが肝要です。採取は、ポートフォリオ程度のレポートから始めて、徐々に良を多くする等の工夫が必要です。 ・学習(学ぼうとする意欲)が乏しい学生が多いと思っています。 ・家庭学習についてはまだまだ質・量ともに不足気味かと思っています。スマホについては家庭と連携した取組も必要なのでは？
	補習内容の充実 【成果と課題】定期テスト前の補習や土曜補習など充実した内容でできている。 【改善策・向上策】次年度も積極的にを行い。進路実現など実質的に成果が出るよう位置づけたい。	A	A	・補習授業の拡充に敬意を表します。今後の充実に期待します。 ・補習についてはたいへん有意義で確実に学力増進に結びついていると思います。
	人権・平和学習の充実 【成果と課題】松代大本営見学や、沖縄修学旅行に関する人権・平和学習がしっかり行われ、現地の研修に生かされている。 【改善策・向上策】前年の取り組みを参考にしつつ、さらに充実したものにしていきたい。	A	A	・取組を高く評価します。 ・松代、沖縄の見学旅行以外にも人権・平和教育は多様であるべきではないでしょうか。 ・現地に赴く前の事前学習も含めて有意義な取組と思います。
森林環境科・インターア科	授業内容、指導法の研究 【成果と課題】生徒の授業への評価はおおむね良好であるが、生徒によって、授業への思い、取り組みに差が出てきている。 【改善策・向上策】授業者自身が授業アンケートなどに基づいて改善するとともに、公開授業、授業研究によって互いに学び合う場を作っていきたい。	B	B	・生徒の意見を直ぐに授業内容に反映させるのはなかなか難しいと思いますが、一週間毎にポートフォリオを提出させる等により、早めに生徒の意見を取り入れることが肝要です。 ・能力差・意識差など大きく大変かと思っています。 ・個々の生徒に合わせた取組や林業クラブ等との連携により個性を伸ばしていただきたい。
	学力向上への取り組みと進路実現 【成果と課題】全体として進路実現は順調にしているが、普通科目の基礎学力が不足している生徒がいる。 【改善策・向上策】一定の成果をあげているが、放課後補習では仲間をまとめていくリーダー的な生徒を育てたい。	A	A	・昨年度の意見と同じで恐縮ですが、基礎学力は学習時間と強い相関があります。学習習慣を身につけさせるためには宿題やレポートで補うしか方法はないと思われます。 ・場合によっては可能であれば、中学レベルの基礎学力の向上に努力を怠りたくない。
	各種資格検定への取り組み 【成果と課題】休日などを利用し多くの生徒が積極的に取得して成果を上げている。インテリアコーディネーターなど新たな資格にも挑戦した。 【改善策・向上策】クラブ活動や生徒会活動などの活動との両立が問題となっている。対応できるよう工夫したい。	A	A	・取組の成果に期待しています。 ・よく頑張っていると思います。 ・多くの資格取得は学力増進への意識づけとして効果が大きいと思います。
	教育課程の研究 【成果と課題】幅広い進路希望に応えるよう構成しているが、講座の人数バランスなど検討を要する。 【改善策・向上策】職員の過重な負担を減らすよう選択科目の精選も行いたい。	B	B	・教職員の過度な負担にならないようにするためにも、自習室の提供等、自分たちで学習する場所と時間を提供することも検討して下さい。

進路指導	評価	評価	コメント
進路指導の明確化 【成果と課題】 例年進路決定が遅れがちであったが、第一志望校選考指導と担任や担当の面談を低学年で行うことで進路目標が明確になる時期を早めることができた。1、2学年は来年度以降に成果が出るであろう。 【改善策・向上策】 今後もキャリア教育を充実させるとともに、早期に進路選択を促すことができるよう、各学年の担当者を通して具体的な指導を行っていくことが重要。	A	A	・進学希望者には遅くとも2年次中のオープンキャンパス参加の義務づけをご検討下さい。 ・期待しています。 ・よくやったださっていると思います。 ・具体的な進路希望を明確にすること。その目標地点の研究を進めることで意識も高まり学習効果も上がると思います。
具体的な進路指導 【成果と課題】 各学年各学科の進路指導行事は成果を上げている。昨年の反省では生徒個々の進路意識を十分喚起するに至っていない面も見られたが、各学年の個別指導により改善している。 【改善策・向上策】 3年になってからの出口指導では自律した進路選択はできない。1年次からの進路指導を重視し、特にキャリア教育の内容を常に見直し、変化する就職状況や受験体制に臨機応変に対応する	A	A	・進学希望者には遅くとも2年次中のオープンキャンパス参加の義務づけをご検討下さい。 ・より個々に沿った指導を！ ・きめ細やかに個々の生徒に合わせた進路指導を行っていただき、確実に成果が上がっていると思います。
進路の実現 【成果と課題】 昨年より多少よい評価をいただいているのは希望進路実現ができるよう新課程入試に対応した体制を整えることができたからであろう。就職に関してはほぼ希望どおりであった。 【改善策・向上策】 進路指導は単年度では成果が上がらない。1、2年次からことあるごとに進路に関わる指導を加え、さらに授業だけでなく家庭学習習慣を重視し実力養成を促す機会を増やしたい。	B	B	・家庭学習習慣の項目でも述べましたが、学習習慣は入学時から始めないと身に付きません。やはり宿題やレポートが決め手ではないでしょうか。1年次には簡単なレポートから始めてだんだんと難しい課題の宿題に段階を踏んで行く方法等をご検討下さい。 ・文系、理系、あるいは進学、就職など。また、進学についても大学、短大、専門学校等の多様な選択しに対応した指導をしていただいていると思います。

生徒指導	評価	評価	コメント
生徒個々の人権を尊重する指導 【成果と課題】 一人一人の生徒にきめの細かな指導を行うことができた、人権意識の涵養に至らず、いじめに関わる問題が発生した。 【改善策・向上策】 事前指導に重点をおき、生徒一人ひとりが落ち着いた生活ができるように努める。	B	B	・いじめは深刻な問題ですので、日常的に生徒の細かな表情や振舞いにも注意を払って下さい。 ・目に見えなてこない分地道な声かけやあたたかい関係づくりがととえも大事になってくると思い魔手。大変よくかわってくださったと感じています。 ・一人の人の生きる尊さを実感させて欲しい。 ・いじめについては、そのサインを見逃さず、早めの対応を望みます。
集団生活をととして社会性の涵養 【成果と課題】 学校生活や家庭生活でのモラル、マナー向上を目指してきた。情報モラル教育が定着して成果を上げてきた。今後は、集団生活をととして学校生活を送ってゆくことによって社会性、協調性をより涵養する必要が感じられる。 【改善策・向上策】 あらゆる校内の集団的な活動を通じて社会性の涵養を行うとともに、モラル、マナーについては、「生徒指導年間計画」により、授業等も利用して入学当初から啓発してゆく。	B	B	・釈迦に説法ですが、生徒のモラルやマナーの問題は保護者（家族）の指導（家庭教育）に問題がある場合がほとんどです。保護者の理解（教育）が先と思います。 ・地域の交流が減り、少子化などで社会性を育てることの大切さと困難さを想います。 ・いわゆる「非行」の芽を摘むための方策は誤ると逆効果の場合も考えられ、家庭とも連絡を密に志、慎重な対応を望みます。
カウンセリングの充実 【成果と課題】 担当者を中心に関係職員、専門科と連携し相談事例に対応することができた。 【改善策・向上策】 相談窓口があることを生徒・保護者に周知するとともに、職員が事例研究などを通じて認識を深める。	A	A	・相談窓口については繰り返し生徒と保護者に周知することが不可欠です。 ・各種相談窓口への垣根を低くし、気軽に相談できる環境作りを望みます。

特別活動	評価	評価	コメント
自主活動の充実と生徒の自立 【成果と課題】 生徒会の活動は前年度踏襲の傾向が強いが、より良い運営・活動を模索しながら日々の活動に取り組んでいる。 【改善策・向上策】 話し合いの場を多く設け、情報共有する機会を増やしていきたい。	A	A	・取組を高く評価するとともに成果を期待しています。 ・今年度、地域の皆さんが大勢文化祭に足を運んだと聞きました。地域の高校として相手意識を持って励んでください。 ・文化祭などで頑張っている様子がうかがえました。 ・生徒の自発的な活動を期待します。
地域を視野に入れた生徒会活動 【成果と課題】 地域の方と懇談する機会を与えていただいた。来年度以降も継続して関わりをもっていく必要がある。 【改善策・向上策】 懇談したことがその場限りにならないように、学校と地域との関わりについて考え行動していきたい。	A	A	・取組を高く評価するとともに成果を期待しています。 ・文化祭も含めて地域との繋がりを強めていっていただきたい。

全般	評価	評価	コメント
生徒の人権尊重 【成果と課題】さまざまな指導事例をとおして、人権を尊重する指導を行ったが、命の尊さに関する教育に関して課題が残った。 【改善策・向上策】人権・人命を最優先に尊重する指導を充実させたい。	B	B	・家庭での教育に問題があるとなんともならない場合がありますので、保護者の理解を得られることが不可欠です。 日々の事柄を通して生徒ひとりひとりの人権感覚を育てていく教育の大切さを感じている。 ・より大切に考え充実させてください。もっとも大切なこと。
地域との連携 【成果と課題】地域の関係機関との情報交換に努めているが、十分とは言えない部分もある。 【改善策・向上策】少子化が進む木曽地域において、本校が果たすべき役割を地域の人々と共に考える必要がある。	B	B	・行政との連携が必要と思います。常民間活動への参加もご検討下さい(小中では育成会等が公民館と協力してお祭り等に参加しています)。 ・個々の生徒(家庭)の中で応援等が必要なケースについては情報交換等連携を深めていきたい。 ・スクールマガジンなどより充実を。 ・普通科の定数減の影響で郡外への生徒の流出が懸念される。様々な可能性を探り、早急なる対応を。
P T A活動の充実・家庭との連携 【成果と課題】地区P T A懇談会や各委員会活動などP T Aの諸活動を年間活動計画に従いできた。活動を通じて学校の様子を的確に伝え、学校への理解を深められた。 【改善策・向上策】P T Aを通じて学校と家庭が課題を共有し、協力しあいたい。	A	A	・保護者の認識が重要ですので、一斉配信メールシステムに登録は義務化すべきと考えます。 ・親が学校や高校生への理解を深められるようにし、関係が希薄にならないようにしたい。 ・PTA活動が役員だけのものにならないようにする工夫が必要。
中学校との連携 【成果と課題】中学校での説明会を実施し、また本校での学校説明会には多くの中学生が参加した。 【改善策・向上策】中学校側との情報交換をさらに進めたい。	C	C	・既の実施されていると思いますが、オープンキャンパスの充実を検討下さい。 ・中学生が少し前に行く先輩の話を聞ける機会はとても良い。 ・中学校との授業参観・職員交流をやるべきではないか。進路も含めて。
各種行事への参加 【成果と課題】地域行事に参加、協力することができた。 【改善策・向上策】今後も積極的に参加に努めたい。	A	A	・取組を評価します。
学校ホームページの充実 【成果と課題】進路関係の行事を積極的に発信した。理数科、専門科のページは委員会、各学科で対応するが、普通科のページをどこで対応するのか不明確なため、進路状況以外の更新ができなかった。 【改善策・向上策】部活動・各学科のページを充実させる必要がある。	B	B	・昨年度も指摘させていただきましたが、生徒の企画段階からの積極的参加を期待しています。 ・何かにつけてHPは開くと思います。適度な更新をお願いしたい。 ・ホームページで学校の日常なども広く広報している様子がうかがえます。
スクールマガジン、学校案内の発行 【成果と課題】内容や構成の工夫をはかり、学校の様子を中学生や地域にアピールすることができた。また、年間8回を遅れず計画通り発行できた。 【改善策・向上策】写真は多く掲載したが、コメントなどをさらに多く掲載できると良い。年間9回発行できるか検討すべき。	B	A	・こちらも生徒の企画段階からの参加を期待しています。 ・校内の様子がよくわかります。開会同じ構成でなくてもよいと思います。 ・更なる向上を！内容・文字の大きさ・配布数など。 ・ホームページ上でも公開されており、効果的な情報発信が行われていると思います。
教育活動の公開 【成果と課題】今年度、授業公開を春と秋の年2回実施したが、秋の参加率が低かった。 【改善策・向上策】さらなる広報活動に努めたい。中学生が参加しやすい日に実施したい。	B	B	・開催日程については、保護者へのアンケート調査が必要か。 ・大変参考になった。仕事などで出られぬことも多いです。
生徒職員の健康管理 【成果と課題】(生徒)治療勧告を2回行うことで治療率は上がったが、まだ不十分な点がある。(職員)個別の呼びかけを積極的に行い、精密検査等に行ってもらうことができた。人間ドックを全職員が受けるよう健康への意識向上が必要。 【改善策・向上策】健康に対する意識を高め、受診につなげる。個別の呼びかけも積極的に行う。	A	A	・取組の成果に期待します。
緊急時の対応態勢の完備 【成果と課題】緊急時引き渡しカードを作成し、緊急時の対応態勢が一步前進した。 【改善策・向上策】一斉メール配信の登録率をさらに上げた。	A	A	・こちらも昨年度指摘させていただきましたが、災害時等の緊急対策ですので、是非、一斉配信メールシステムに登録は義務化すべきと考えます。昨年度、自然災害に直面したこともありますので、保護者の理解を得られると考えます。 ・一斉メールの効果を上げるためにも登録必須にしてはどうでしょうか。